

累計 12,000 基を超えるトイレを設置 ネピア・ユニセフ支援キャンペーン 「ネピア 千のトイレプロジェクト／第 10 フェーズ・2017～2018」 ～あなたの選ぶネピアが、子どもたちを守るトイレになる～

2017年11月1日～2018年1月31日まで日本全国で展開

王子ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：矢嶋進）、王子ネピア株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：清水紀暁）は、開発途上国のトイレと水の問題を改善することを目的として、2008年に「ネピア 千のトイレプロジェクト」を立ち上げ、ユニセフ（国際連合児童基金）の東ティモール民主共和国（以下、東ティモール）における水と衛生の活動を支援してまいりました。家庭の衛生に携わる商品をお届けする王子ネピアは、世界の「トイレと水の問題」を見つめ、10年目を迎える本年も、本プロジェクトを継続実施いたします。



トイレと水の問題で失われてゆく命を守りたい。

nepia 千のトイレプロジェクト

「ネピア 千のトイレプロジェクト／第 10 フェーズ」では、2017年11月1日(水)から2018年1月31日(水)までの3ヶ月間、日本全国でキャンペーンを展開いたします。キャンペーン期間中の対象商品の売上の一部で、ユニセフの「水と衛生に関する支援活動」をサポートし、アジアで一番若い独立国である東ティモールを支援対象国として、屋外排泄の根絶を目指します。

パッケージに写真家・小林紀晴氏の写真を起用したプロジェクト告知商品を、11月より数量限定販売いたします。販売店様のご協力のもと、店頭を通じた告知活動を行い、わが国において、世界の「水と衛生の問題」への関心を高め、理解を深めることに努めてまいります。

「ネピア 千のトイレプロジェクト」にご賛同いただきました皆さまの想いととも、東ティモールの子どもたちとその家族の命・健康を守ることを目指します。

<参考資料>

■ 支援対象国「東ティモール民主共和国」について



東ティモール民主共和国は、2002年5月に独立したアジアで一番若い国です。人口はおよそ110万人。国土面積は約14,000㎡。美しい海に囲まれたこの国は、18歳未満の人口が国民の約50.2%と若々しい活気に溢れていますが、独立前後の混乱で、もともと乏しかった国内のインフラに激しい打撃を受け、特に農村部では、保険や教育などの基本的なサービスが十分に行き届いていません。

○ 東ティモールの衛生状態と日本との比較



出典: Child Mortality Estimates Info 2015、世界子供白書2016

■ 第10フェーズの目標

2019年3月31日までに、ユニセフの「水と衛生のプログラム」を通して、コバリマ県にある9村56集落を対象に、衛生施設へのアクセスと利用状況の改善を行います。また、500人の5歳児未満児とその家族(少なくとも1650世帯)に安全で衛生的な生活を提供します。

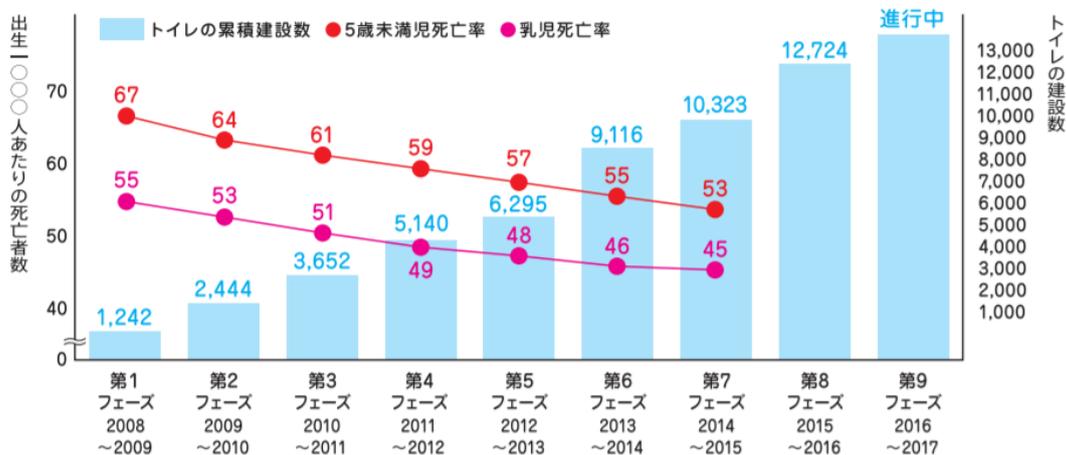
(注1) 屋外排泄の根絶: 村の全世帯、全公共施設に改善されたトイレへのアクセスがあり、住民全員がトイレをしようしていること。また、村に屋外排泄の形跡がないこと。衛生意識向上の活動に基づき、村を挙げた自発的なトイレ作りで、上記の基準を満たした村が、政府関連機関の認証のもと、屋外排泄の根絶宣言を行います。



■ プロジェクトの実績

2008年の開始以来、支援対象国である東ティモールにおいて、約12,700基を超える世帯のトイレが完成しました。また、学校や地域のトイレや給水設備が改善され、安全で衛生的なトイレを使える人の数が増えたことはもちろん、乳児の死亡率、5歳児未満の死亡率などの改善にも貢献しています。

○プロジェクトによるトイレ建設数と乳児死亡率、5歳未満児死亡率の推移



■ プロジェクトへの参加方法

2017年11月1日（水）から2018年1月31日（水）までのキャンペーン期間、対象となるネピア商品をお買い上げになるだけで、どなたでもキャンペーンに参加できます。また、郵便振替での募金でもこのキャンペーンに参加することができます。

郵便局（ゆうちょ銀行）振替口座：00190-5-31000

郵便口座名義：（公財）日本ユニセフ協会

※通信欄に「ネピア」と必ず明記ください

※窓口での募金の場合は、送金手数料が免除されます

郵便振替での募金の場合は、日本ユニセフ協会より領収書が発行されます。

（日本ユニセフ協会への寄付金は、特定公益増進法人への寄付として税制上の優遇措置の対象となります。詳しくは日本ユニセフ協会のホームページ (<http://www.unicef.or.jp>) をご覧ください。）

■ キャンペーン対象商品

- ネピア プレミアムソフトティッシュ／ネピア ネピネピティッシュ／
- ネピア ネピネピメイトティッシュ／ネピア 鼻セレブティッシュ／
- ネピア プレミアムソフトトイレットロール／ネピア ネピネピトイレットロール／
- ネピア ネピネピメイトトイレットロール／ネピア ロングトイレットロール／
- ネピア におわん・におわにゃん消臭ロングトイレットロール
- ネピア おしりセレブトイレットロール



■ 小林紀晴氏について

1968年、長野県生まれ。アジアの旅先で出会った日本人の若者の姿を写真と文章で綴った「ASIAN JAPANESE」でデビュー。多くの若者の絶大な共感を呼ぶ。1997年度「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞受賞。2013年写真展「遠くから来た船」で第22回林忠彦賞受賞。日本で最も注目される写真家のひとりとして、次々と意欲的な創作に取り組んでいる。

(<http://www.kobayashikisei.com>)



■ 王子ホールディングスについて

1873年、日本で初めて本格的な近代産業として製紙業を開始した王子製紙は、2012年10月に持ち株会社への移行に伴い王子ホールディングスに商号変更しました。当社は創業以来、生活のさまざまな場で用いられる紙の安定供給を通じて文化に貢献するとともに、森のサイクル(海外植林)、紙のリサイクル(古紙リサイクル)の推進により積極的に環境保全に取り組んできました。「領域をこえ 未来へ」のスローガンの下、持続可能な社会の実現を目指すため、革新的価値の提供を通じて環境・社会との共生を図り、人類世界の未来へ貢献していきます。

(<http://ojiholdings.co.jp/>)

■ 王子ネピアについて

ティッシュやトイレットロール、紙おむつなどを製造・販売している王子ネピアでは『nepia Quality』を掲げ、3つの品質【生活品質、環境品質、社会品質】を追求しています。肌ざわりや使い心地(生活品質)の向上はもちろん、FSC®認証紙の積極的な採用を実施し、環境保全にも取り組んでいます。また、FSC®認証の普及促進に向けた啓発活動において、公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン)と提携しています。(環境品質)。また社会貢献活動もひとつの品質(社会品質)と捉え、お客さまの想いと共に、様々な団体と協力しながら社会の課題解決への取り組みを展開しています。

(<http://www.nepia.co.jp/>)

ネピアの紙は
森を守る紙 FSC®です。



■ ユニセフについて

ユニセフ(UNICEF: 国際連合児童基金)は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在190の国と地域で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。

※ユニセフ国内委員会(ユニセフ協会)が活動する34の国と地域を含みます

※ユニセフの活動資金は、全ての個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています

(<http://www.unicef.or.jp/>)

■ 日本ユニセフ協会について

1873年、公益財団法人 日本ユニセフ協会は、先進工業国34の国と地域にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、政策提言(アドボカシー)を担っています。

(<http://www.unicef.or.jp/>)

<商品に関するお問い合わせ先>

王子ネピア株式会社 マーケティング本部 コンシューマーマーケティング部 TEL:03-3248-2855

<ご掲載の際のお客様からのお問い合わせ先>

ネピアお客様相談室 TEL:0120-985-041 (平日 9:30~17:00)